

授業改善推進プラン〈国語〉

西東京市立ひばりが丘中学校

1 指導目標

自分の考えを適切に表現し、物事を正確に理解する言語能力を養い、伝え合う力を高める。
思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育成する。

2 平成26年度 1学期における考察と課題

学年	考察	課題
1 学年	作文の中での誤字、送り仮名の間違いなどが目立つ生徒が見られる。	小学校学習漢字を文章中で正しく活用する力を身につける。
2 学年	「児童・生徒の学力向上を図るための調査」より、「話す・聞く」の正答率が東京都平均より、約2%下回っていることから、音声言語を理解することを苦手としている生徒がいる。	聞き取りテストを定期的実施し、「聞く力」を育成する。
3 学年	国語A…前後の言葉や状況を根拠としながら心情を把握することが苦手な傾向にある。また、語彙数の不足で言葉の意味を正しくとらえることができていない。 国語B…国語Aと共通し、場面や言葉から想像して内容を掴むことが苦手な生徒がいる。	国語A・Bより…授業で辞書を使う習慣をつけさせ、語彙力を高める。また意味を正しくとらえた言葉から、心情や場面を想像する力を育成する。
全学年	「言語に関する知識・理解・技能」の分野を苦手としている生徒がいる。 「話すこと・聞くこと」の分野を苦手としている生徒がいる。	漢字、語彙の定着と活用。 聞き取りテストを定期的実施。

3 平成26年度 2学期以降へ向けての改善のポイント

学年	改善のポイント
1 学年	教科書の漢字学習の単元を利用し定着を図るとともに、「書く」学習においても文字や漢字、送り仮名について意識して取り組ませていく。
2 学年	聞き取りテストやスピーチなど、「話すこと・聞くこと」に関する取り組みを、授業の中に取り入れる。
3 学年	教科書の文章中で心情のわかる言葉や接続詞などに注目をさせる練習をする。また、プリント等で漢字や語句の意味、表現などの問題を意識して取り組ませる。
全学年	漢字・語彙を定着させ、正しく活用できるように定期的な練習や小テスト、短文作り、語彙集作りなどをさせる。 発表の仕方の基礎を指導し、発表の場を増やすなど「話す・聞く」の指導を充実させる。

4 評価の工夫

観点	観点の項目	評価内容
国語への関心・意欲・態度	国語に対する関心を深め、意欲的に授業に参加することができたか。	ノート・提出物・授業態度
話す・聞く能力	自分の考えを豊かにし、筋道を立てて、的確に話したり聞いたりできたか。	テスト・発表・ワークシート
書く能力	自分の考えを豊かにし、筋道を立てて、目的に応じて適切に文章にできたか。	テスト・作文・ノート
読む能力	さまざまな文章を的確に読みとったり、読書に親しんだりできたか。	テスト・感想文・ワーク
言語についての知識・理解・技能	語彙・語句・文法・漢字の知識を身に付け、場に応じて使いこなせたか。 文字を正しく整えて書くことができたか。	テスト・ノート・ワークシート・小テスト・書写作品